Vol.89　リディアン♭7th スケールの実践練習　～その 2～

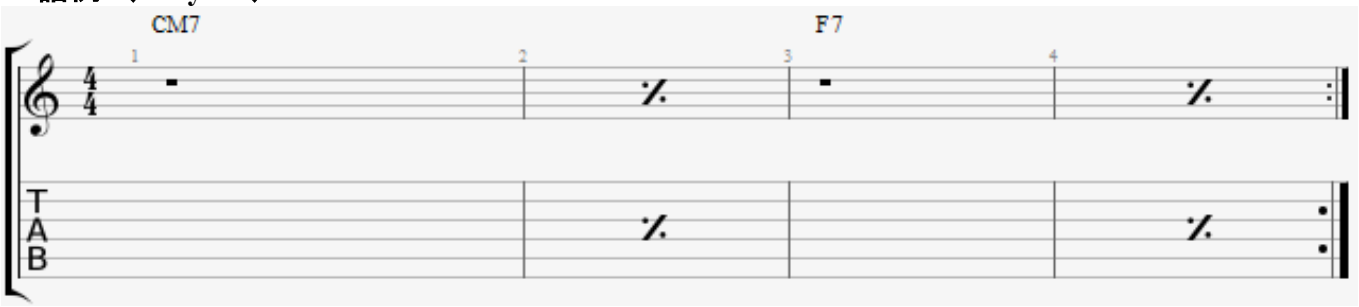
では、『10 分トレ』vol.89、始めていきましょう。

引き続き、リディアン♭7th の実践を行います。

前回はⅡ7 でやったので、今回はⅣ7 でやってみましょうか。

題材となるコード進行は以下になります。

譜例 1、key=C、Ⅰ M7－Ⅳ7



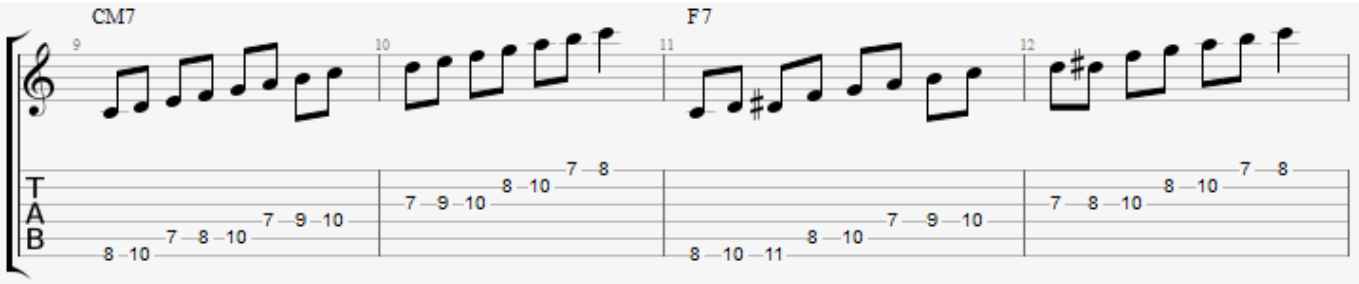
極々シンプルに、C キーでⅠ M7－Ⅳ7 を並べたものですね。(※ヴォイシングは自由に設定してください)

実際の楽曲では、この様な進行を見る事はあまりないと思いますが、初期段階での練習としては非常にやりやすいので、これを使いましょう。

スケールは、CM7 上では C メジャースケール、F7 上では F リディアン♭7th スケールを使います。

F リディアン♭7th は C メロディックマイナー上のモード・スケールなので、C メジャーと C メロディックマイナーの切り替えと見ても良いですね。

譜例 2、C メジャースケール⇔C メロディックマイナースケールの 1 例

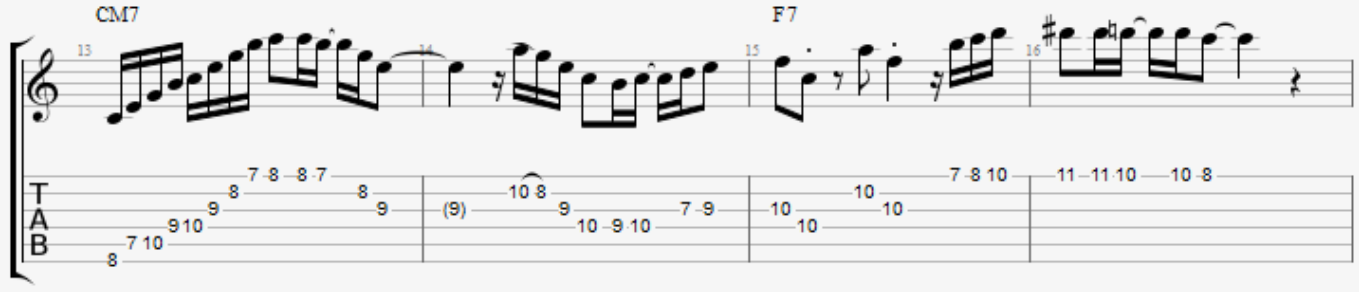


この辺り、C メロディックマイナーでも F リディアン♭7th でも、自分なりに使いやすい方を選んで下さい。

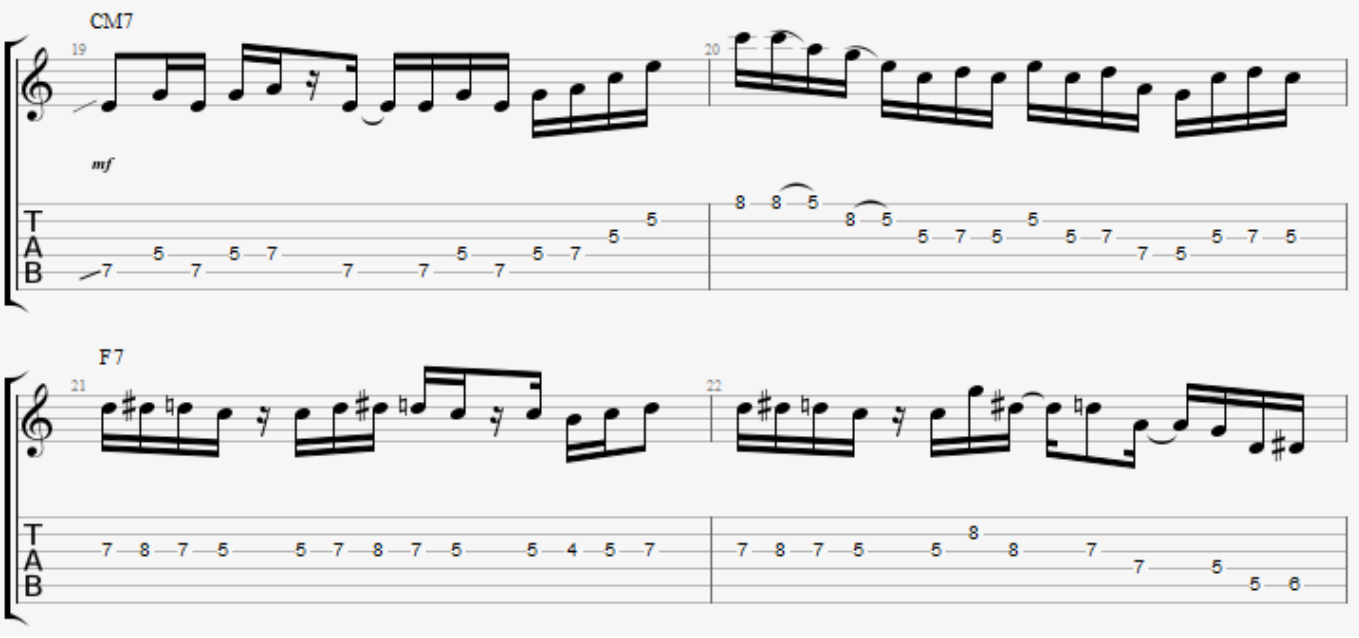
Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

では、実際のフレーズを弾いてみましょうか。

譜例 3、F リディアン♭7th スケール、切り替え、サンプルフレーズ



譜例 4、F リディアン♭7th スケール、切り替え、サンプルフレーズ



簡単なもので良いのでバッキングを作っておくと、各スケールの響きが分かりやすくなるでしょう。

奏法的には、譜例 3 はコードトーン・アルペジオ的なアプローチで、譜例 4 は C メジャーペンタの主要ポジション近辺で弾いていますね。

ペンタの時にブルー・ノートの♭5th として見ていた音が、リディアンの特性音である♯4th と異名同音なので、その辺りにも注目してみましょう。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved